

■ 設立の目的

「高度成長から安定成長へ」、「量から質への転換」、「ものからころへの時代へ」「ゆとりと豊かさ」などの標語に示されるように、国民の価値観の変化に対応して新しい社会現象が次々に生み出されています。個性を生かし、想像力を発揮しつつ、スポーツ、野外活動、トレーニングを通じて、体力づくりや健康の増進を図り、心身共に快適な生活設計を図っていくことは、国民のニーズに沿った基本的トレンドです。

自由時間の過ごし方の今後の予測では、趣味や社交的スポーツへの志向、健康の保持・増進や生きがい創造のための活動に対する志向がますます強くなる傾向にあります。また、わが国は高齢社会から15年後には超高齢社会になっていくことが確実です。高齢社会においては、高齢者が家族との交流はもとより、気の合った仲間たちとの時間に安らぎを求め、健康で一生を楽しく過ごす環境整備が求められております。

このような環境を背景に、(公財)日本バレーボール協会がいつでもどこでも誰もが楽しめる簡単な生涯スポーツとして開発し、(公財)日本バレーボール協会及び日本ソフトバレーボール連盟が普及に力点を置いているソフトバレーボールは、スポーツを通じた新しい地域づくり・街づくりと明るい家庭づくり、さらには体力の向上、健康づくりなど、健康レジャーの時代に対応した、生き生きとした活力のある国民生活に大きな役割を果たすものとして、全国の地方自治体に広く普及し発展しております。

特に全国ソフトバレー・ファミリーフェスティバル及び全国ソフトバレー・シルバーフェスティバルはファミリーやシルバーの方々が気軽に楽しく参加できることと、地域コミュニケーションの一体化を目指した結果のソフトバレーボールの最大の全国大会です。全国各地のファミリーや地域の仲間が一堂に会し、スポーツを中心に交流を行い、競技参加者と地域住民が一体となって楽しめる、まさに時代のニーズにあった一大イベントであります。毎年、全国47都道府県より54の代表チームの参加により盛大に開催され、「ゆとりと豊かさ」と交流」をテーマとしたファミリーやシルバーによるスポーツの全国大会として、各方面より賞讃をいただいております。

また、1999年には記念すべき第1回全国ソフトバレー・レディース交流大会も香川県高松市で開催されました。この新しい大会も、レディース、家族間のコミュニケーションはもとより、地域社会の交流、地域住民の福祉の向上と地域の活性化にも十分寄与する意義あるものです。

さらに、2001年には同じく香川県高松市でメンズ大会が開催されました。

今後、これらの大会はさらに大きなスポーツ・イベントに発展し、新しい時代の生活者参加型のイベントとして、モデル的な役割を果たしていくものと深く確信しております。